

海津木苑運営委員会（令和元年度2月期）

会議録

1. 日時： 令和2年2月20日（木）15時00分 開会
2. 場所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（10名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	内平 晃二
委員	清原 秀則	委員	清原 透
委員	三好 収	委員	安武 正一
委員	森 里子	委員	横田 昌宏

4. 欠席委員（簗原委員、内場委員、河北委員、星野委員）

5. 傍聴者数（1名）

6. 事務局出席職員職氏名

古賀市長	田辺 一城	市民部長	清水 万里子
環境課長	智原 英樹	海津木苑長	吉田 義昭
海津木苑係長	国本 勝喜	海津木苑職員	古賀 仁尚

概要

15:00 開会

1. 古賀市あいさつ

田辺市長： 本日、海津木苑は供用開始から、38年目を迎えるということで本日お集まりの皆様をはじめとして地元の皆様、運営委員の皆様にご理解いただき安全に施設運営ができておりますことに改めて市長として感謝を申し上げます。

また、啓発の面が大変重要であるが、旧処理施設の撤去及び本処理施設の設置経緯を踏まえ、部落差別をはじめ、さまざまな人権課題の早期解決に向け、行政総体で取り組んでいるところである。

今後とも、安全な施設運営に努め、また、人権課題解決の重要な一拠点であると強く意識をしながら更なる啓発に取り組んで参りたいと改めて申し上げます。

また、地元の皆様のご理解ご協力をいただき、令和5年度からの供用開始をめざしている。

次期施設についても、出来る限り、早い時期に地元鹿部区の皆様との協定と覚書が締結できるよう、引き続き、誠意をもって地元鹿部区、農区、鹿部支部、地元市

議会議員の代表者の皆様との協議を重ねさせていただきたいと考えている。

地元代表の皆様との協議と並行して、建設工事の準備にも取り掛かる時期となっている。

次期施設の本体の建設工事は、令和3年度に着手する予定ではあるが、いよいよ、令和2年度から、管理棟の移設工事などの関連する工事をスタートすることとしている。

これについては、間もなく開会する市議会、定例会においても当初予算案を提案させていただくが、当然盛り込ませていただいているところである。

なお、次期施設においては、福津市さんの分のし尿等受け入れて処理をする予定としているが、古賀市と福津市の関係機関との協議を引続き重ねているところである。

また、今月5日には福津市長が古賀市役所の市長室においていただき、具体的な事務分担、施設啓発、人権啓発の取組についてなど直接私と協議をさせていただいたところである。

事務委託の内容については、両者の会談の中で合意を見てそれぞれが古賀市議会と福津市議会に諮る段取りになっている。

両市議会においてご了承いただけたら規約を県に提出する流れになっている。

また、この中で人権啓発の取組と申し上げたが、福津市さんには、改めて私の方からこの施設の歴史的な経緯や存在の意義と一緒に、私たちは事務委託を受ける立場だが、行っていく中で福津市の市民の皆様にもしっかりとその意義を知っていただくよう、取り組んでいくことが非常に大切な事であるということは直接福津市長へもお伝えしている。

今後とも、運営委員の皆様には、ご助言・ご協力をいただきたいと考えているのでよろしくお願い申し上げて冒頭のご挨拶とさせていただく。

2. 委員長あいさつ
3. 協議事項及び報告

1) 会議録について (事務局より説明)

(1) 12月期運営委員会会議録

資料.1

(2) 2月期運営委員会会議録署名

【質疑・意見】 なし

2) 海津木苑運営に関する実施状況について 資料.2 (事務局より説明)

・令和元年12月及び令和2年1月の処理状況について

【質疑】

副委員長 : 1点目は浄化槽の搬入量が毎月平均して同じ位の搬入量だが搬入制限を行っているのか。

2点目は新施設建設に向け古賀市も動き出しているが、古賀市の現在の計画処理量は1日27klであるが、今後大きな変動はないということで判断をしておいてよいのか。

[答弁]

環境課長 : 浄化槽汚泥は毎月平均して搬入されており、今月は多いから来月に搬入させるなどの制限は行っていない。
また、業者の搬入が集中しないように分散するように配慮をされているかもしれないが私どもでは調整などはしていない。

[質疑]

委員長 : 現在のところ27klがマックスの処理量に向かって進め、平均は31.8klであるが27klになるということで計画をしているという認識で良いのか。

[答弁]

環境課長 : 27klを見込んだ根拠としては、今後の下水道普及率や現状などを踏まえ生活排水処理計画を作成するため、平成25年度から検討した計画でそれ以降、搬入されるし尿や浄化槽汚泥がどのようになるか計画推計を出し、変動もあると思うが、一番多く搬入される量を想定したのが27klであり、令和5年以降はそれ以上多くならない想定で施設を計画している。
福津市についても搬入される最高が25kl以上にならないので52klの処理施設を想定している。

[質疑]

副委員長 : 極端な話ではあるが、今後し尿が減るのか増えるのか、農業集落排水はこうなる、或いは公共下水にこのように接続していくのでこのようになっていくとかならなければならない。
だから相対的にどうなのかをまとめて聞いている。

[答弁]

古賀市長 : 令和5年度から20年間の汚泥の推移については推計を出しており、今後本市の下水道普及計画や農業集落排水の問題など全て今後の想定をしたうえで計画として出しており、今後委員会の皆様にもお示しできる資料を次回にでもお示しできるように準備させていただきたい。

[答弁]

環境課長 : 20年間の推移を県に報告しており、過大な施設を建設するのではなく、資料を添付しているが、次回の委員会の時に今後の新施設建設後の令和25年の分までは想定しており、皆様にお示しが出来ればと思っている。

[意見]

委員長 : 今月 26 日から 3 月議会が始まり、そこで議案として提案されるが、場合によっては福津市との関連を含めてかなり議論されると思う。

資料があるのであれば議会でも説明をお願いするとともに並行して運営委員会でも説明をお願いする。

運営委員会は決定機関ではないが監視機関なのでよろしく願います。

[質疑]

委員 : 電力の契約は古賀市全体で契約を行っているのか或いは海津木苑単体で行っているのか。

[答弁]

海津木苑長 : 全ての公共施設の契約を一括して入札を行い 12 月から九州電力へ切り替わっている。

[質疑]

委員 : 伊藤忠エネクスにある時期に変更になり、今回九州電力に契約が変わったということだが、伊藤忠エネクスの前は九州電力なのか。

[答弁]

海津木苑長 : 九州電力である。

[意見]

委員 : 古賀市の全体的な公共施設を対象にした入札に因り電力料金が下がってきているので企業努力をして非常に効果が出てきていると言える。

[質疑]

委員 : 放流水検査項目の BOD とは何か、数字的には問題ないが 1 月だけが平均値と比較すると 3.6 mg/l と高い数値となっているがなぜか。

[答弁]

海津木苑 : BOD というのは水の汚れを示す指標の一つである。

業務主査 : また、1 月に BOD 値が高いのは年末年始の長期間にわたり施設を休止させていたことで、窒素含有量が高くなることから窒素を除去するためにメタノールの添加量を通常よりも多く添加したことにより数値が通常よりも高くなっている。

- 3) 令和元年度臭気測定（第 3 回）及び令和元年度騒音・振動測定結果について
 - ・令和元年度第 3 回臭気測定立会予定委員
 - ・予定立会者

- ・第3回臭気測定候補日
- ・実施日

(事務局より説明)

[質疑・意見] なし

4) 海津木苑施設等啓発について

資料.3

(事務局より説明)

[質疑]

副委員長 : 職員の人権研修で海津木苑に来て学習を行っているが、この一課がなぜ海津木苑の学習を行うことになったのかの経緯はどうなっているのか。

新規職員もいると思うがアンケートの中で、海津木苑にきて学習できて良かった、初めて来た、勉強になった等の感想がさまざまあるが、もっと市の職員に来ていただきたいと要望があるが、アンケートの感想をどの様に感じ取ったのか聞かせていただきたい。

[回答]

市民部長 : 経緯については後期人権研修が行われるタイミングで部長、課長、3役が集まる会議の中で、後期研修を海津木苑での研修として活用していただきたいと申し上げ、各部長が所属課へ下ろしていただき、海津木苑を活用することも考えていただいた結果だと思っている。

[答弁]

海津木苑長 : 24名の職員が来られたが9名が正規職員で15名が嘱託職員や臨時職員であった。

感想でもあったが臨時職員の方が初めて海津木苑に来られ学ばれていった。

今後も正規職員を始め、嘱託職員や臨時職員の方にも海津木苑の見学や研修を行っていきたい。

また、市民の皆様には広報誌を活用し施設の見学、研修のご案内をしているところであるが、活用数が少ないのもっと広めていかなければならないと思っている。

[質疑]

副委員長 : 予防検診課だけではなくもっと数多くの課に来て学んでいただき、古賀市から全ての差別がない社会を作っていくこと、これを契機に一課だけではなく来年度も取り組んでいただきたい。

感想については子どもの学習もあるので、海津木苑の職場としてどうだったのかを感じ、反省をしてそれを活かしていき差別のない社会を作っていただきたい。

[意見]

委員 : ほとんどが第三者的な感想が多いと感じるが、本当に自分のこととして捉えている方もいる。

この方が今後、職員としてどのように業務に活かされたのかということも聞きたいし、このような方が沢山増えていったらと思う。

[意見]

委員 : 以前も意見として申し上げたが、アンケートの結果を載せていただくのは大切だが、もっと大事なのは、このアンケートを回収された職員の方がどのように感じられているか、苑長以下職員がこのアンケートを見て何処に課題があるのかを見つけないと、どこを改善していくのか、市の職員に対する啓蒙になにが足りないのかが大事だと思う。

可能な範囲でアンケートの結果を踏まえて今後どのような取組をしていくべきかの考えをまとめていただくと、このアンケートが今後生きていくのではないかと思う。

4. 次期し尿処理施設について 資料.4 資料.5 資料.6

・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ（第22回） 1月23日（木）

（事務局より説明）

[意見]

副委員長 : 現在小学校の見学では研修センターを活用しているが、研修センターでは収容できずに2班に分かれて来ている学校もある。

新施設では大きな会議室が必要ではないか。

現在の施設の会議室は小さなものなので、次期施設では大きな会議室を完備していただきたいが、地元と十分に協議をしないといけないが、運営委員会にも投げかけて議論して良いのではないか。

[答弁]

環境課長 : 大きなプロジェクトなので今すぐお応えできることは少ないが、可能な限り青写真が出来たところでタイミングを見ながら、見ていただいたり、ご意見をいただいたり、そのような場を作っていきたい。

また、そういった場が大切だと思っているし、ご意見をどう反映できるのかと思っている。

[質疑]

委員 : 現在、市と協議を行うなかで説明を受けているのは、管理棟を勤労者研修センターを更地にして仮設の管理棟を建設するのか。

[答弁]

環境課長 : 現在の海津木苑事務所がある場所に新施設を建設するので現在の管理棟の機能を研修センターに移行する計画である。
新施設が完成するまではそこで事務を行い、新施設完成した後に研修センターを解体する。
また、研修センターの機能を新施設に入れられないか検討している。

[意見]

委員 : 資料6について5月、6月に解体の設計だけを行うと理解しているが、それではよろしいか。
協定書や覚書は現在、協議を行っておりお互いに理解し調印できるのはもう少し時間がかかると思う。

[質疑]

委員 : 実施設計が令和3年度の3ヶ月間位で実施予定と思うが、基本設計を運営委員会で意見を出し反映させてフィードバックさせ、地元でも説明を行わなければならないので早くやらないと間に合わないのではないか。
どれくらいの予定で想定しているのか。

[答弁]

環境課長 : 時期について何月というのはお答えするのに準備が出来ていない。
令和2年度中に基本設計を固め、令和3年度に入札をかけられるような状態にしたいと思っている。
年度開けて入札が終わると議会にかけることになるので、時期を見ながら逆算して動いていきたい。

[質疑]

委員 : 地元や運営委員の意見が設計から出てきたものが、また設計に戻して回答できる余地はあるのか。

[意見]

委員長 : 設計については聞く立場である。
意見として発言するのは構わないが決定的なものは地元と執行部であり、最終的には予算が入ってきた時点で古賀市の議会にかけられるので議会で議論していく流れになると思う。運営委員会できょうすべきなど出来ない。

[質疑]

委員 : 資料6のスケジュールで行けば3月議会で提案され、資料通りのスケジュールで行くかどうかを含めて、改めて次回の運営委員会で議会承認されたスケジュールが確定した事項を報告いただけるという認識でいいのか。

[答弁]

環境課長 : 発注仕様書業務委託や管理棟移設工事は予算を伴うので3月議会の予算特別委員会で承認を受けたのちに業者選定となるので、現時点で予算は審議前なので案としているが、次回の運営委員会では今年の実施事業として確定した報告もできると思う。

5. その他

[質疑・意見] なし

15時55分 閉会

※ 次回の運営委員会は、4月を予定している。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

令和2年 月 日

委員長

印

委員長の指名する
出席委員

印